

「茶おちゃお」ってどんなところ・・・！？



「茶おちゃお」は、幼児の通級指導教室です。

集団生活の中で、みんなと一緒に遊ぶことができなかったり、感情のコントロールが苦手で、自分の気持ちをうまく伝えることができなかったりするお子さんをスムーズに集団生活ができるように支援をするところです。

また、小学校へのスムーズな入学へ向け、各小学校と連携を図っています。小学校入学にあたり、お子さんもことが心配な方、「茶おちゃお」で身に着けたことや学んだことが小学校生活に活かされていきます。

心配なことがあったら、下のチェックシートにチャレンジ！

「当てはまるな～」「これからが心配だな～」と思ったら、まずはお気軽にご相談ください。

相談担当：入間市教育センター「茶おちゃお」スタッフ 04-2964-8355

- 同年齢の友達と遊べず、集団に入れない
- 人見知りをしないで、一人でどこでも行ってしまう
- 質問しても違う答えが返ってきたりオウム返しをする
- 喜怒哀楽がはっきりしない
- 新しい環境に慣れにくく、泣き叫んだり、固まってしまう
- 切り替えが悪く、次の行動にスムーズに移れない
- 乱暴・突発的な行動をする・動きが激しい
- 感情の起伏が激しい
- 敏感である（大きな音・人に触れられることが苦手・手が汚れるのが嫌い等）
- こだわりがあり固定した行動パターンがある（同じ色を好む・同じものを並べたりするなど）
- 目が合わない・人の顔を見ない
- 落ち着きがない・集中できない
- くるくる回ったり、手をひらひらさせたり、不思議な行動をする
- 歩行が遅い・よくつまずいたり怪我をする
- 手先が不器用
- 偏食がある（食べられないものが多い）
- 言葉が遅い。発音が不明瞭で聞き取りにくい
- 発音が上手にできない（例…サ行がタ行になる サカナ→タカナ）
- 言葉を繰り返したり引きのぼしたりする（例…簿、簿、僕はね。ぼ～～～くはね。）

ぼ、ぼ、ぼく…、よるごはんは
にくとたかな(魚)が食べたいな。



「ぼ、ぼ、ぼく」のよう
に言葉を繰り返してしま
うことを吃音といいます。
原因は、特定されていま
せん。このような時には、
まず話し方より話している
内容に耳を傾けてあげて
ください。

このようなとき、「もう一度、話してごらん。」「ゆっくり話せばいいんだよ。」などと声をかけたことはありませんか？

話し直させると、ますます話せなくなったり、「ぼ、ぼ、ぼーくね」と言葉が伸びてしまいます。また、この「いるていー」のように魚がタカナに変化してしまうように、カ行やサ行がタ行やシャシュショに変化することもよくあります。このような時は、まず、お子さんが話していることを受け入れてあげてください。それでも気になる、毎日のように言葉が詰まってしまう等で心配なことがありましたら、「茶おちゃお」（ことばの教室）にぜひご相談ください。

気になったら、まずは日頃からできることとして、次のことをしてみましょう。

- ・よく噛んで食べる。（口もしっかり閉じる）
- ・吸ったり吹いたりする。（ラッパ、シャボン玉、風車遊びなど）
- ・唇をよく動かす。（しりとり、言葉遊びなど）
- ・正しい言葉や音をたくさん聞く。

茶おちゃおのことばの教室では…

面接で、お子さんの言葉の状態を見させていただき、問題解決へ向け指導を行います。

〔指導内容〕

- 口の体操（口まわりや舌をよく動かす）
- 正しい音を聞き分ける練習
- 発音練習